

会社説明会

2019年8月5日



東洋刃物株式会社

1.

東洋刃物の概要

p 2

2.

東洋刃物の強み

p 1 9

3.

業績推移

p 2 3

4.

業績予想

p 3 2

5.

株主還元

p 3 4



家庭用の包丁やハサミではありません



製造現場で使われる刃物です



設立	1925年（大正14年）8月9日
本社所在地	宮城県富谷市富谷日渡34番地11
代表者	清野芳彰
連結従業員数	255人
資本金	7億円
上場取引所	東京証券取引所（第二部）
時価総額	27億42百万円
配当利回り	1.36% ^{*注1}

* 2019年3月末時点

* 注1 2019年3月期配当金と2019年3月29日終値より算出



代表取締役社長 清野芳彰



従業員一同

■ ■ グループ会社（韓国）

東洋鋼業株式會社
(持分法適用関連会社)

本社（宮城県）

■ 販売拠点（国内）

仙台営業所 東京営業所
名古屋営業所 大阪営業所
広島営業所 国際事業所

■ 生産拠点（宮城県）

富谷工場
多賀城事業所

グループ会社（宮城県）

株式会社トオハ
東洋緑化株式会社

■ 販売拠点（マレーシア）

クアラルンプール支店
シブ事務所

■ 販売拠点
■ 生産拠点

社は「創造と信頼」

経営基本方針

- ◆ 社会貢献
- ◆ ものづくり
- ◆ 人づくり

◆1925年 設立◆

当時、工業用機械刃物はほとんどが輸入品



金属学の世界的権威であった、
東北帝国大学（現東北大学）附属金属材料研究所所長
本多光太郎博士の提唱により仙台市に設立

「産学連携」の会社として

現在も東北大学と共同で研究・開発を実施

1960年

▶多賀城工場落成 品種別生産体制確立

1961年

▶東京証券取引所第二部上場

1970年

▶富谷工場新設 産業用機械の製造開始



1973年の富谷工場



2018年の富谷工場

2011年

▶ 東日本大震災により本社・多賀城工場が被災

2012年

▶ 多賀城事業所で一部生産開始

2016年

▶ 地域中核企業活性化ファンドと資本業務提携契約の締結 *注1

2019年

▶ 株式会社フェローテックHDと資本業務提携契約の締結

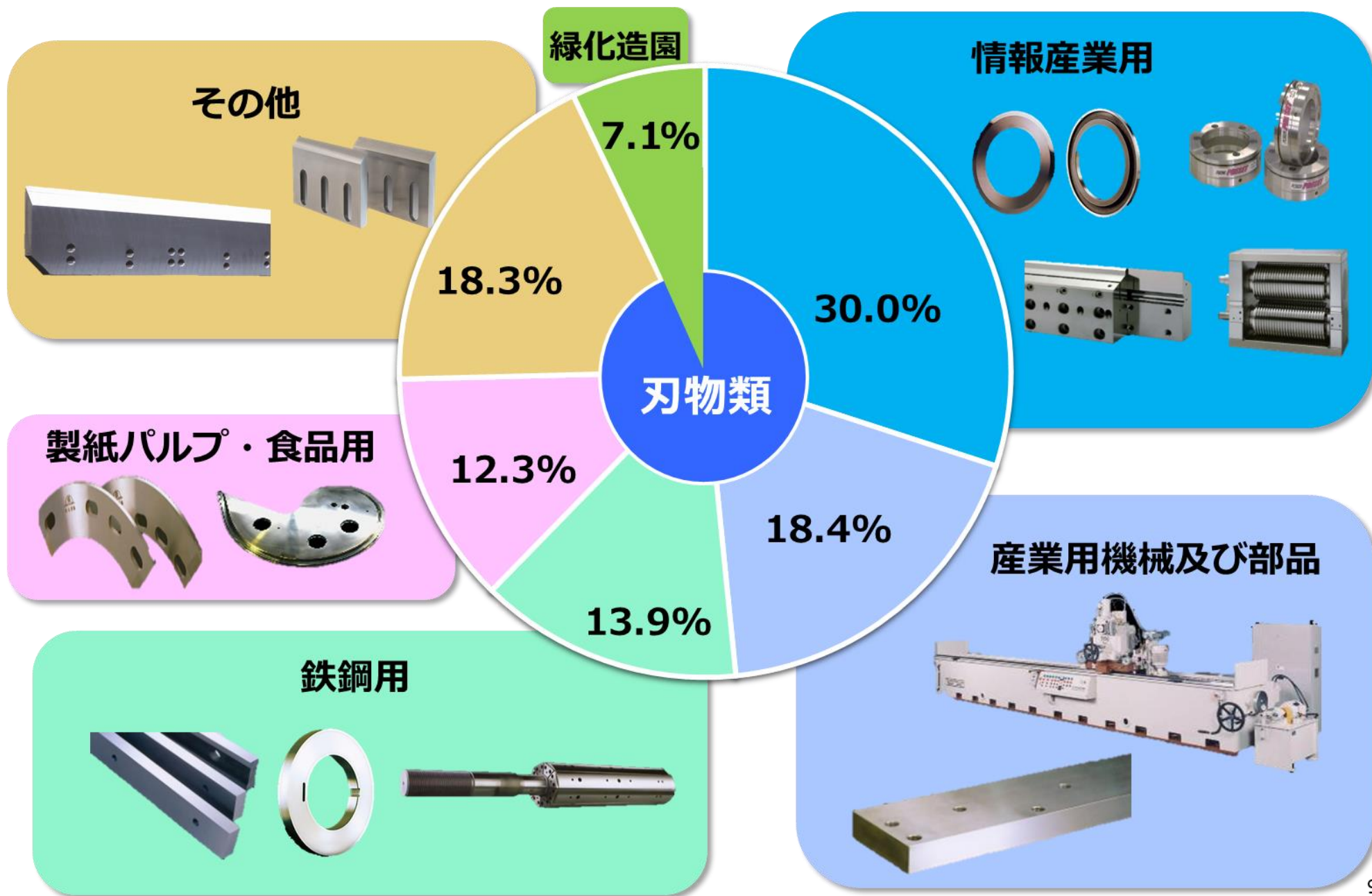


2011年3月15日 多賀城工場



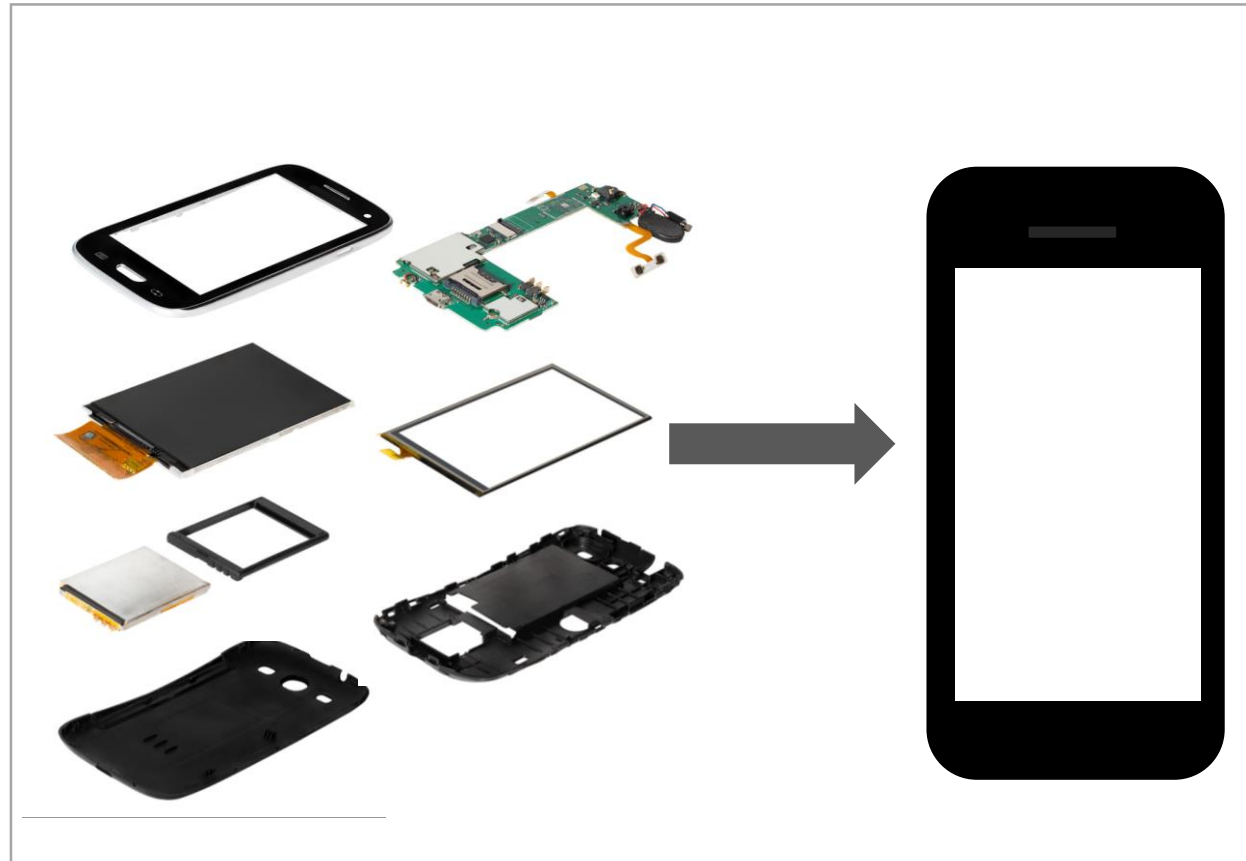
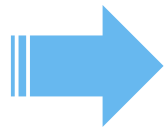
2017年9月4日 多賀城事業所（旧多賀城工場）

*注1 2019年5月13日付で契約終了



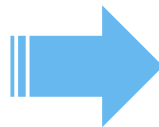
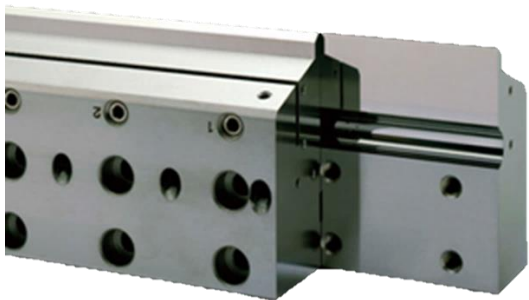
スマートフォン内部の部品を切断

スリッターナイフ



液晶パネルの加工

コーティングダイ

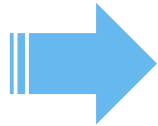


ガラス・フィルムへ
レジストを塗布



自動車用鋼板の切断

シャープブレード

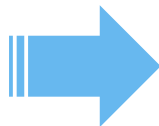


自動車のボディやピラーを切断



鋼管の加工

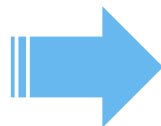
メカニカルエキスパンドダイス



石油・天然ガスを輸送する
鋼管の真円成形

段ボールの加工

ダンボールカッター

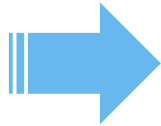


多用途のダンボールを切断



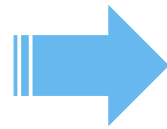
トイレットロールの切断

ログティッシュカッター



食肉・野菜の加工

ミートスライサー



スライサーナイフ（野菜切用）

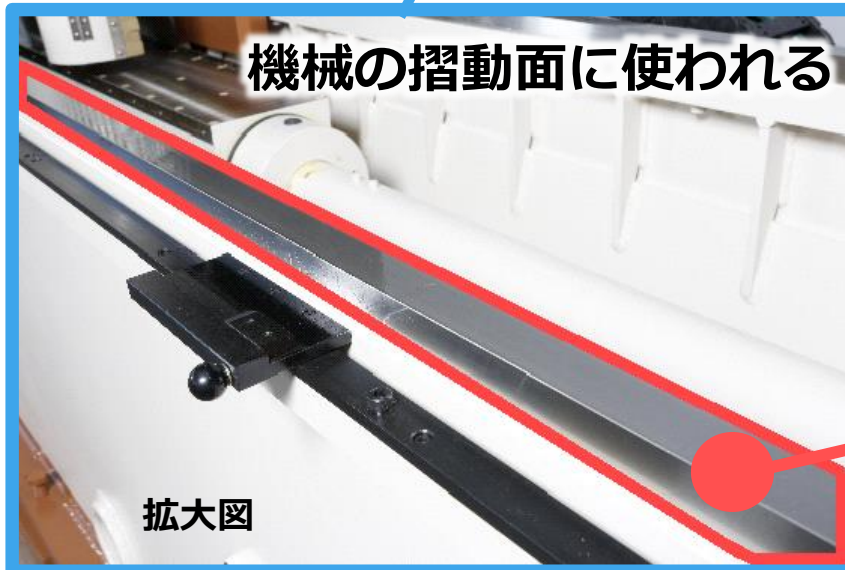


産業用機械・部品の加工

刃付平面研削盤



機械の摺動面に使われる

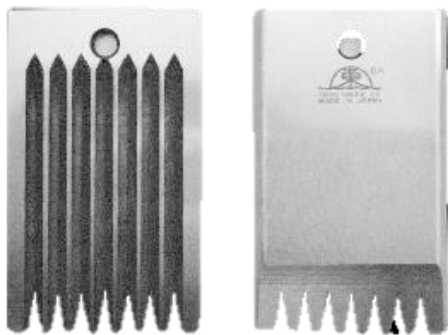


拡大図

摺動部品 (スライドウェイ)



トレッドカッター



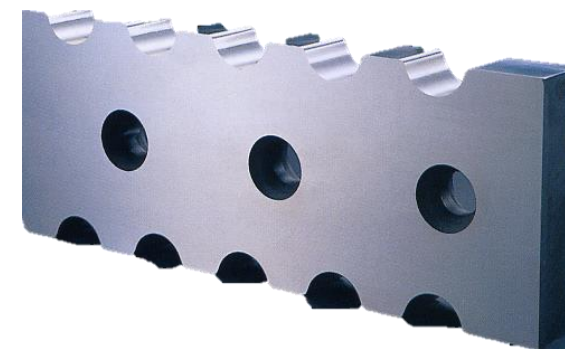
タイヤのヒゲ除去切断用

パイプカッター



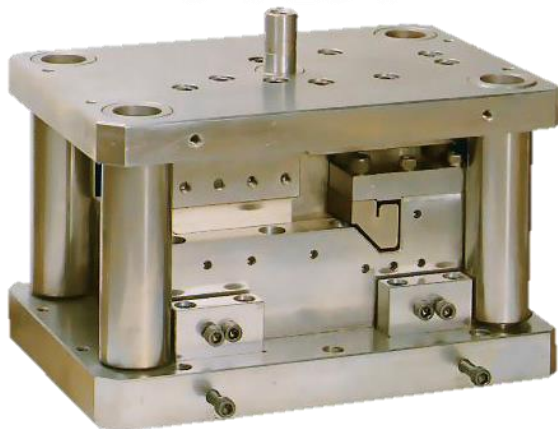
パイプ切断用

コールドシャー



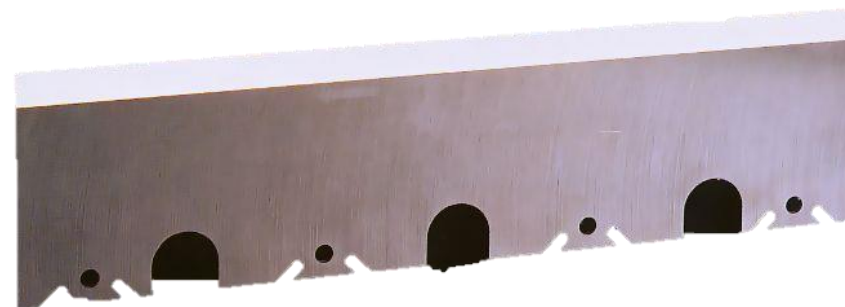
棒鋼、アングルバー切断用

ダイセット



ガードレール等形鋼の切断用

チップパーナイフ



パルプ木材をチップ状に切断

創業90余年で培った確かな技術力①

▶高精度移動式ホルダー（第6回みやぎ優れMONO認定製品）

・・・加工機に刃物を取り付けるために必要不可欠な部品

- ◆課題であった利便性と精度の両立を実現
- ◆刃物のセッティング時間も短縮



お客様の生産性向上に貢献し、高い評価をいただいております。

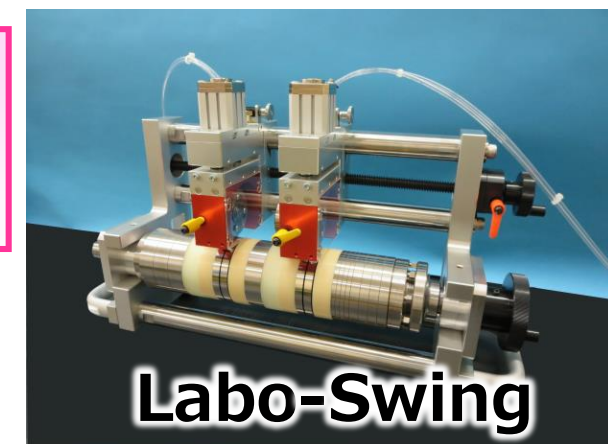
登録特許：8件 特許出願中：3件 意匠登録：8件（日本・中国・台湾）

創業90余年で培った確かな技術力②

▶Laboシリーズ

・・・場所を選ばず手軽にスリットできる小型試験機

- ◆これまで10機種を開発
- ◆「より簡単な環境で切断試験を行いたい」
というご要望により新製品を開発



生産ラインを止めずに自社で気軽に切断試験ができ、
お客様より大変ご好評をいただいております。

創業90余年で培った確かな技術力③

▶ CCM合金

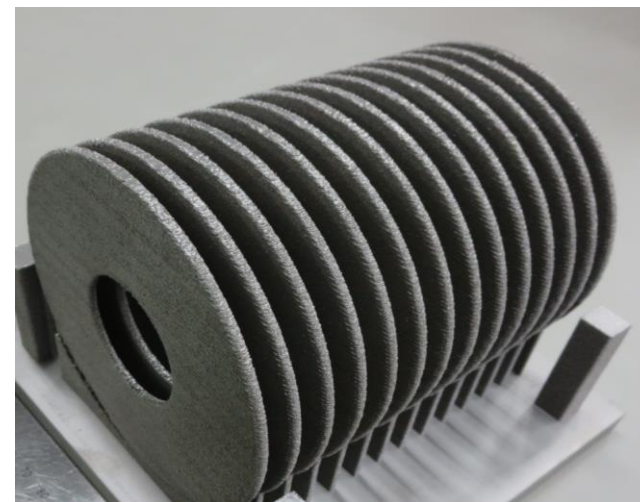
・・・硬く、欠けにくく、錆びにくい金属素材

◆開発経緯

東日本大震災海水による塩害
→錆びにくい刃物の開発

◆東北大学との共同研究

- “金属版3Dプリンター”により製造
- 課題であった硬度と欠けにくさの両立を実現
- 高硬度、高靱性（＝欠けにくい）、高耐食性の素材を初めて開発



登録特許：1件 特許出願中：1件

幅広い顧客基盤

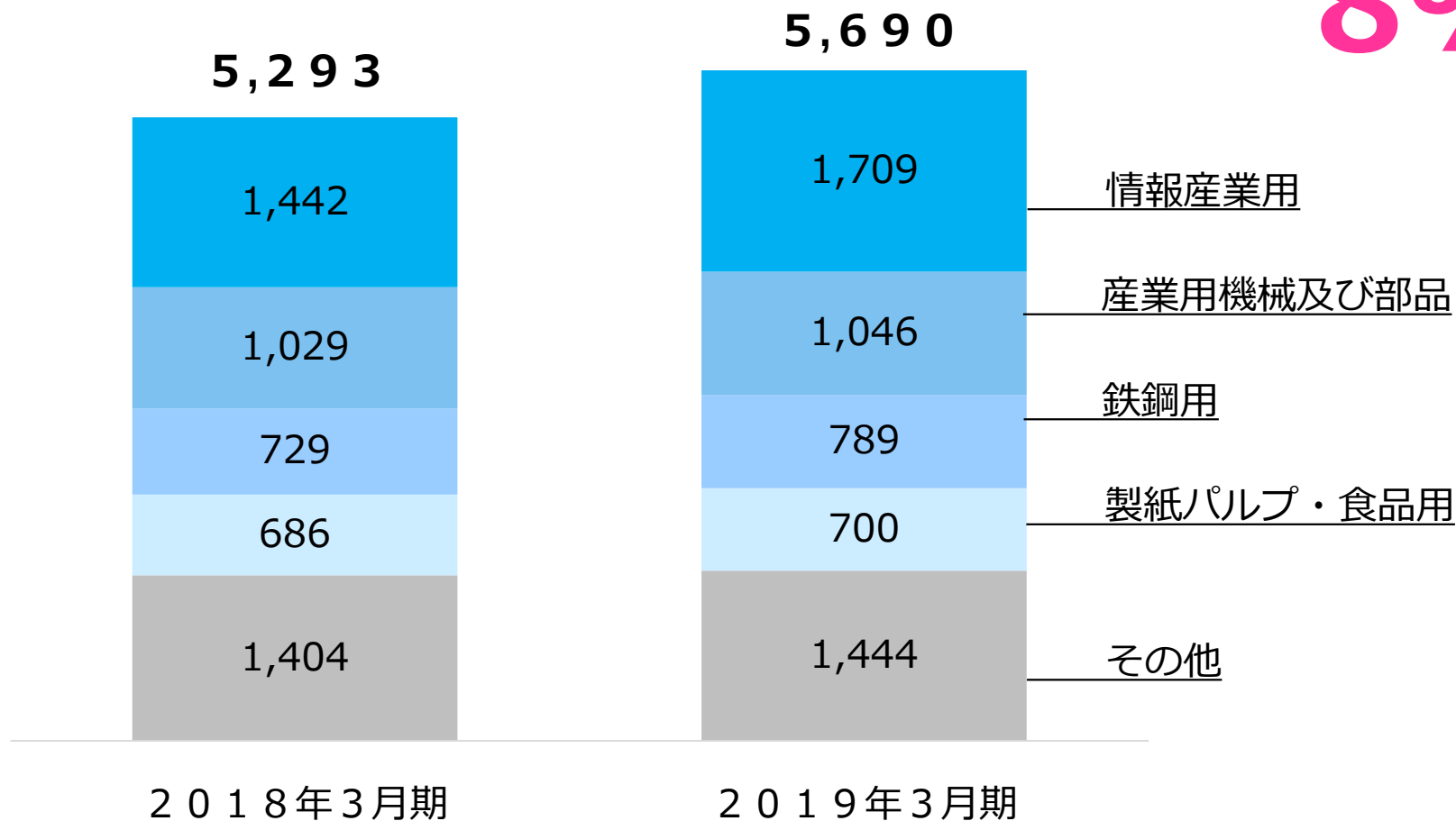


- ◆刃物の製造技術を応用し、各種部品も製造
- ◆様々な分野で使われており、約3,500社のお客様と取引

売上高

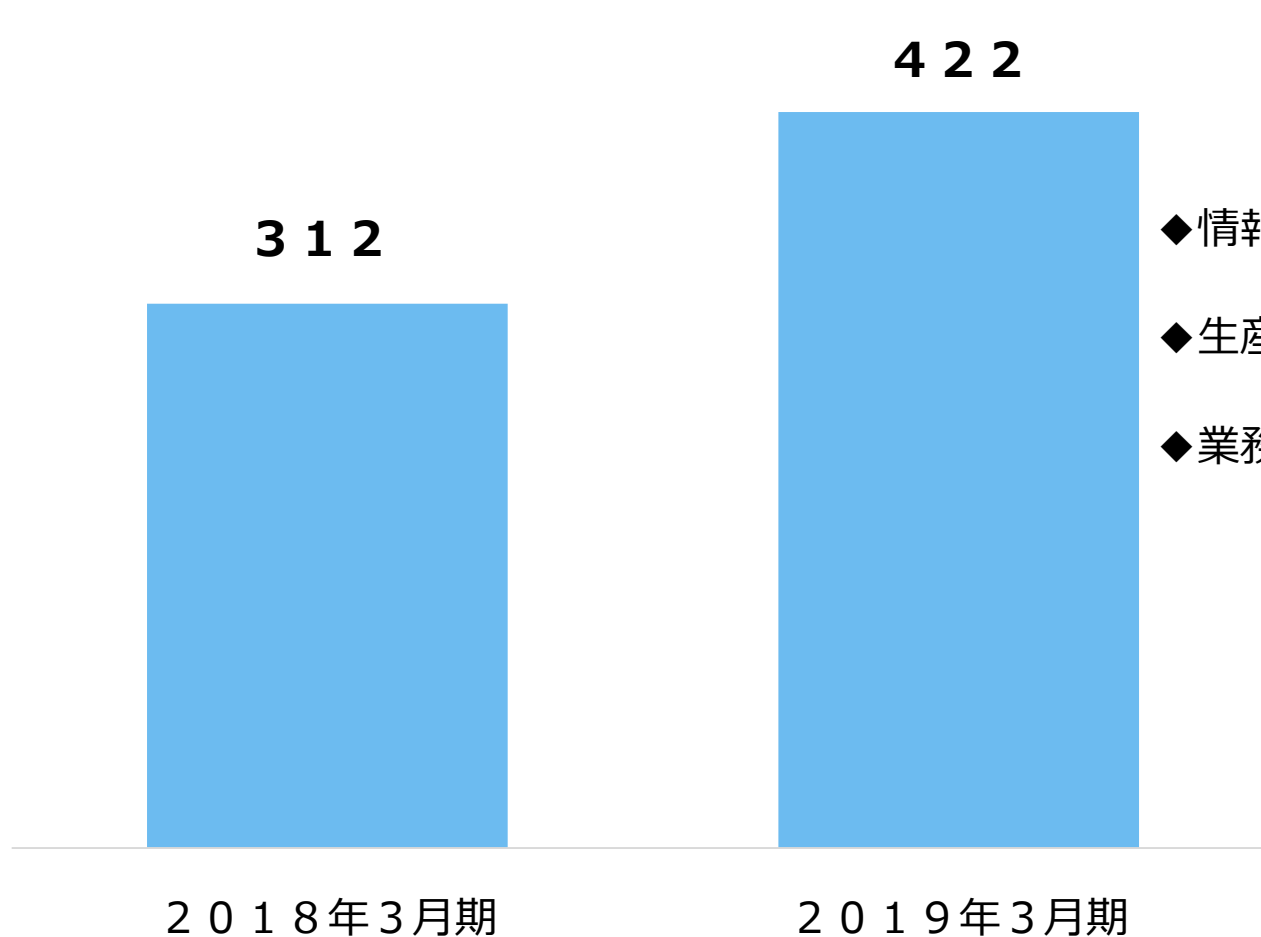
(単位：百万円)

8%増



営業利益

(単位：百万円)

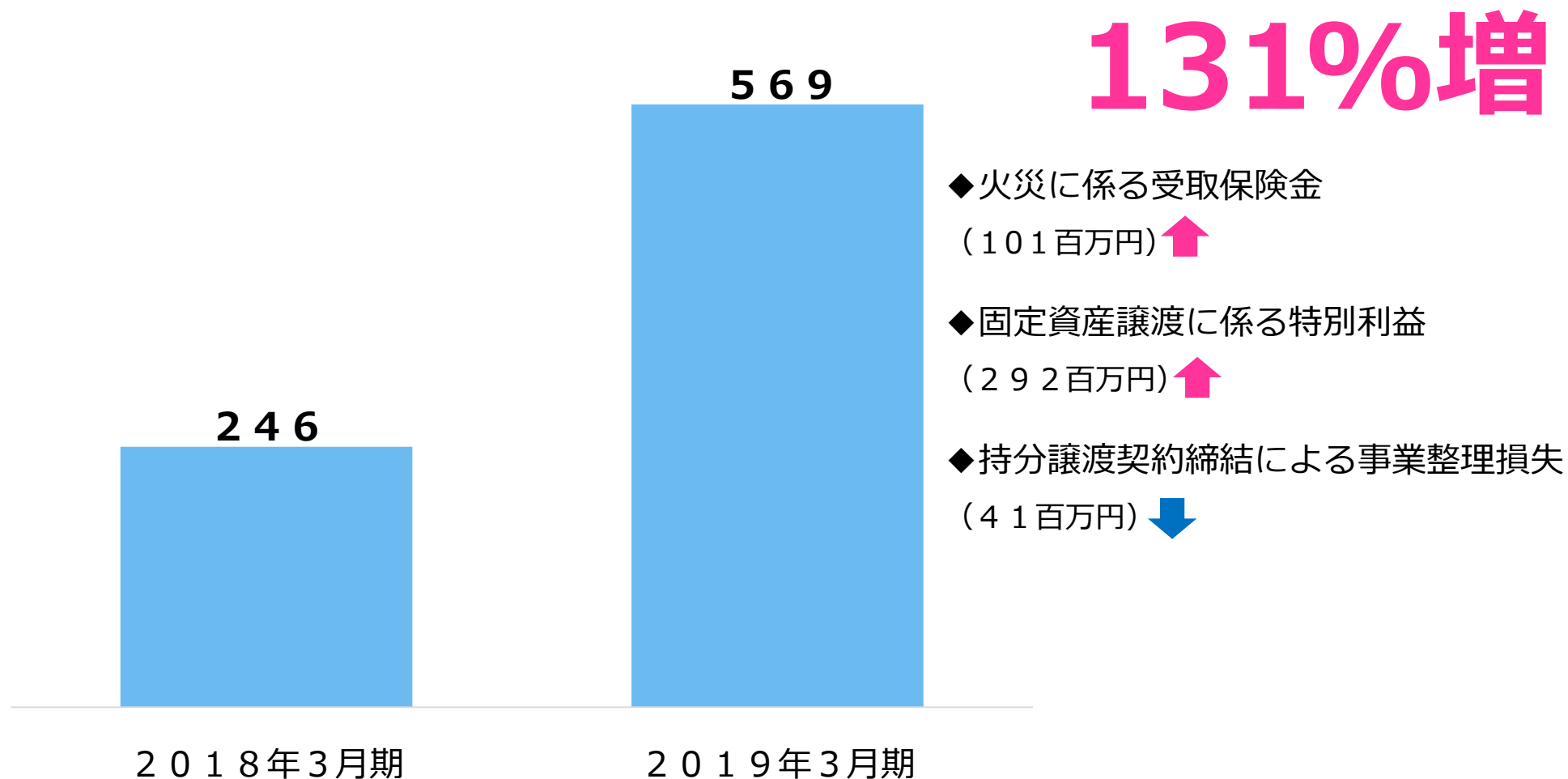


35%増

- ◆情報産業用を中心とした売上高の増加
- ◆生産性向上策の実施
- ◆業務改善による各種経費の削減

当期純利益

(単位：百万円)



中期経営計画期間

2016年4月1日から2019年3月31日

3つのビジョン

1. 高品質・高付加価値品の製造を目指す
2. 超精密部品の加工において随一のメーカーとしての地位を確立
3. 高精度精密製品の売上高構成比率を50%以上を目指す

重点施策

- ◆ 短納期・少量多品種を強みとする生産体制の構築
- ◆ 販売及び仕入の強化
- ◆ 資本政策と財務基盤の強化

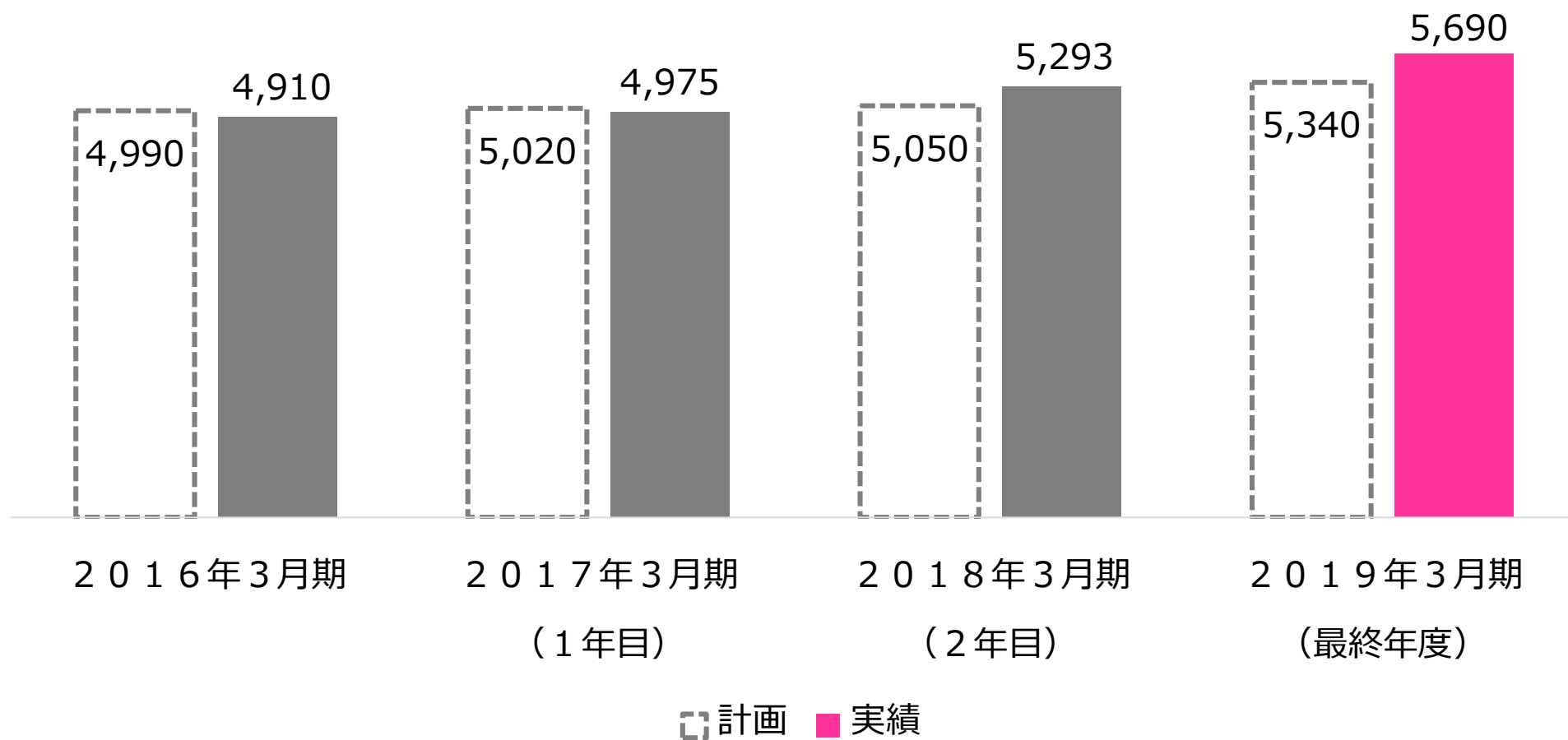
展 開

具体的な取り組み

- ◆ 戦略品種を中心に製造リードタイムを短縮
- ◆ 設備投資で、内製化、省人化の推進
- ◆ 提案型営業活動の徹底で戦略品種を拡販
- ◆ 減資により、繰越剰余金の損失を解消
- ◆ 財務基盤安定及び金融費用低減のためシンジケートローン実施
- ◆ 自己株式取得

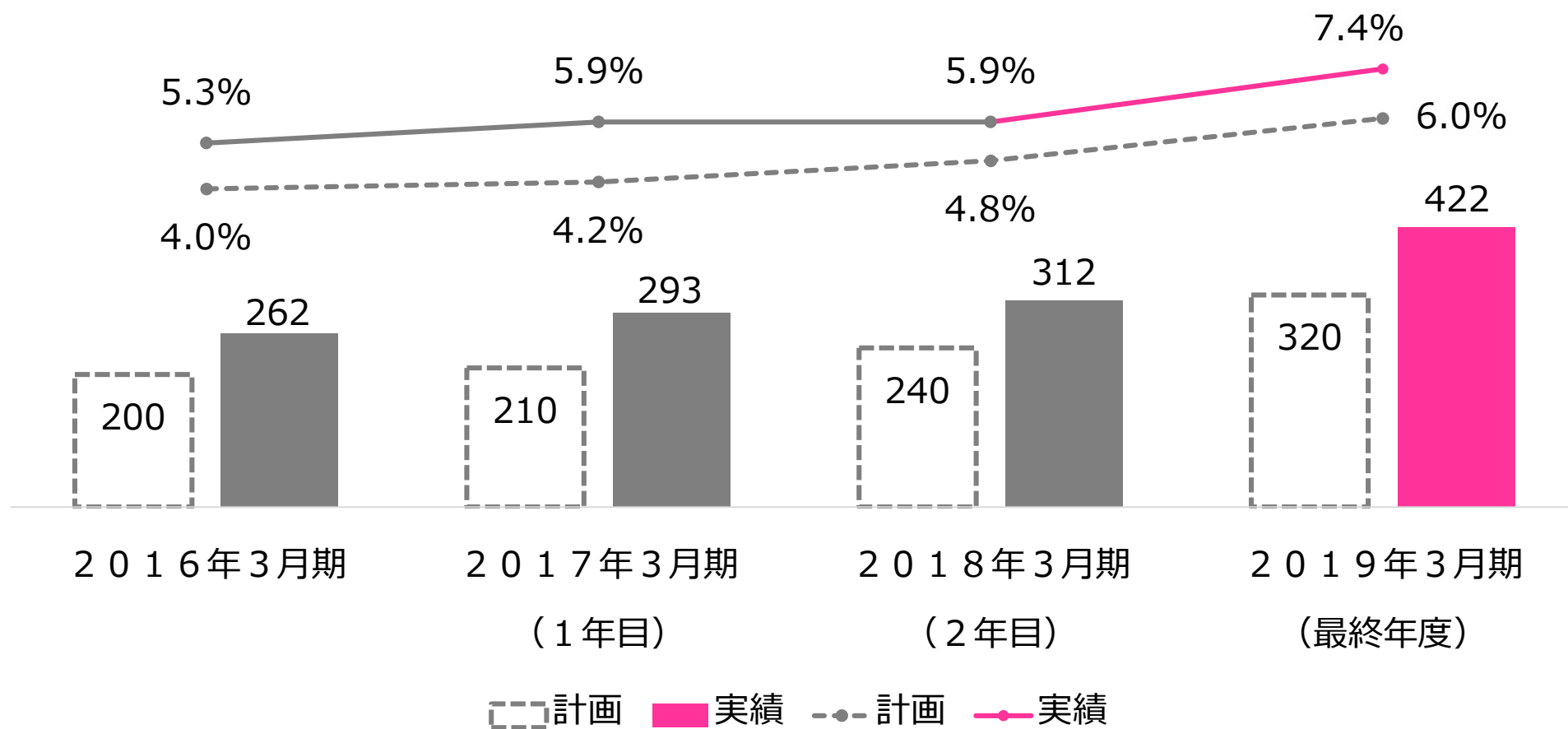
(単位：百万円)

売上高



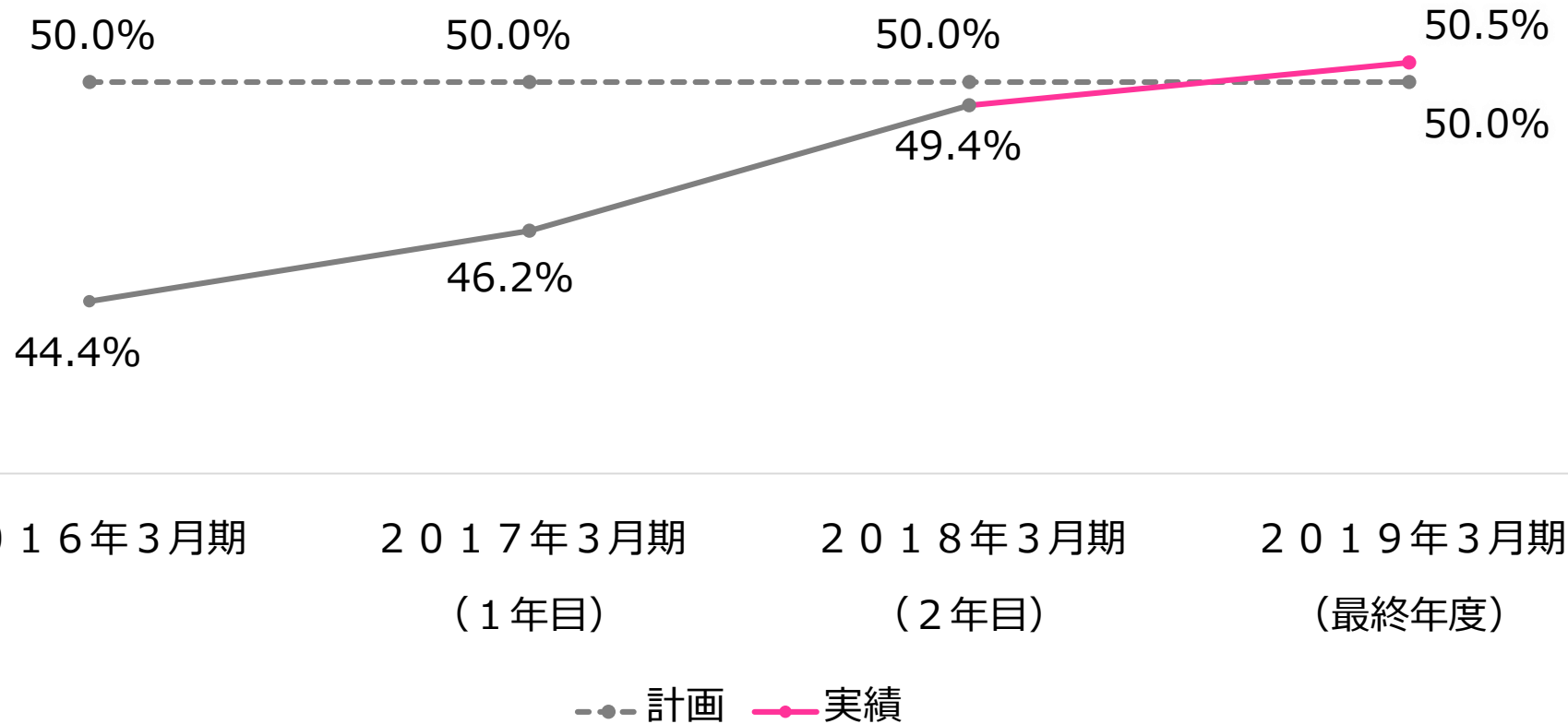
(単位：百万円)

営業利益及び営業利益率



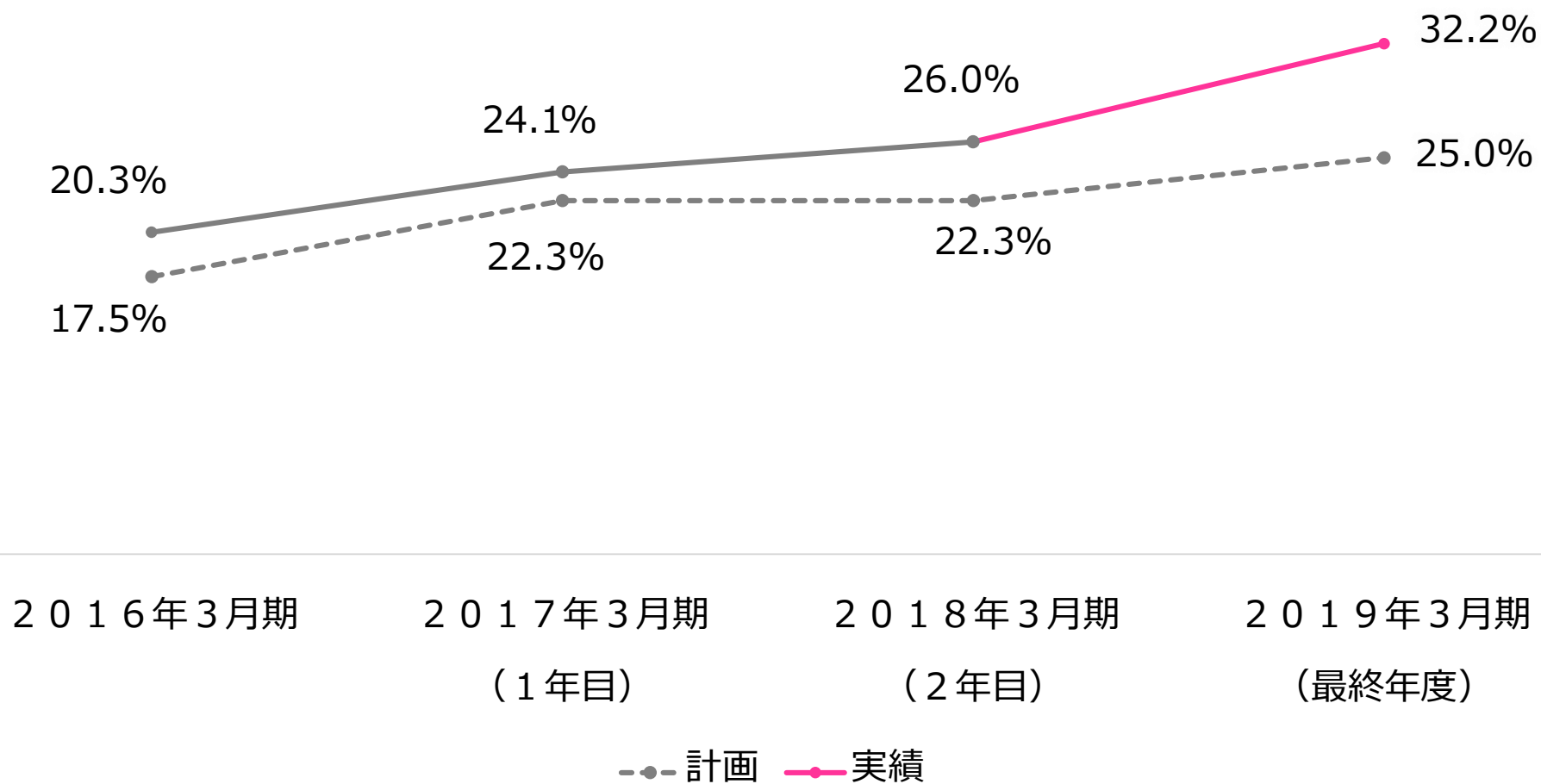
(単位：%)

高精度精密製品売上高構成比率



(単位：%)

自己資本比率



売上高

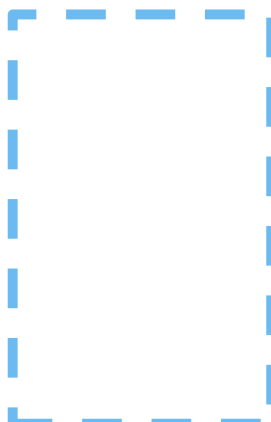
(単位：百万円)

5,690



2019年3月期

5,500



2020年3月期予想

3%減

用途別事業環境

➡ 情報産業用 ⇒ 様々な分野で使われる高機能フィルム向けが堅調で、前年並みの見通し

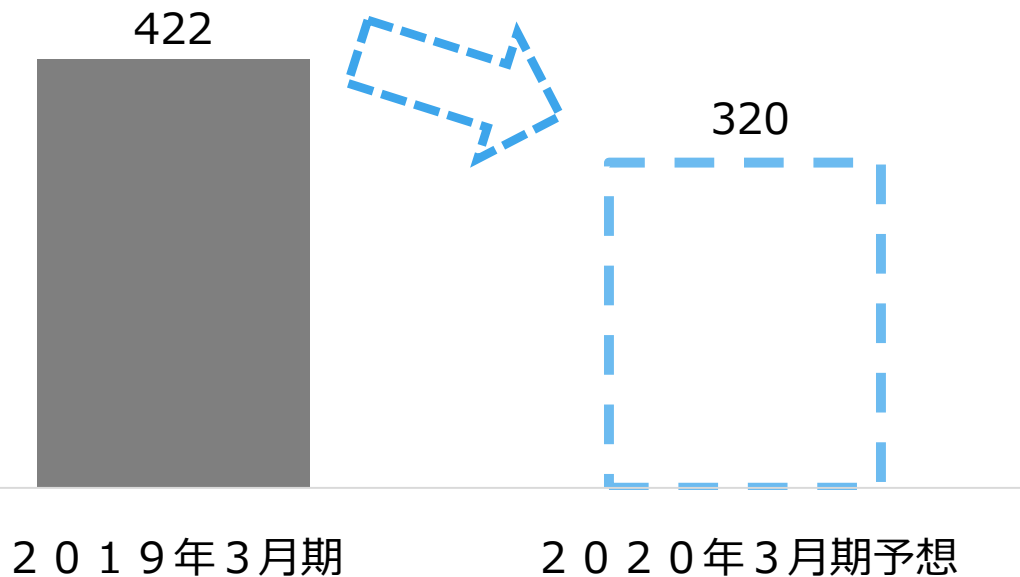
⬇ 産業用機械及び部品 ⇒ 設備投資が一巡し鈍化傾向にあるため、前年度を下回る見通し

➡ 鉄鋼用 ⇒ 自動車関連は消費増税が懸念、インフラ整備は堅調で、前年並みの見通し

⬆ 製紙パルプ用 ⇒ インターネット通販の拡大等で段ボール関連が堅調に推移する見通し

営業利益

(単位：百万円)



24%減

主な利益変動要因

- ◆ 売上高減少の見通しによる影響
- ◆ 設備投資に伴う、減価償却費の増加の影響
- ◆ 諸資材等の価格上昇の影響

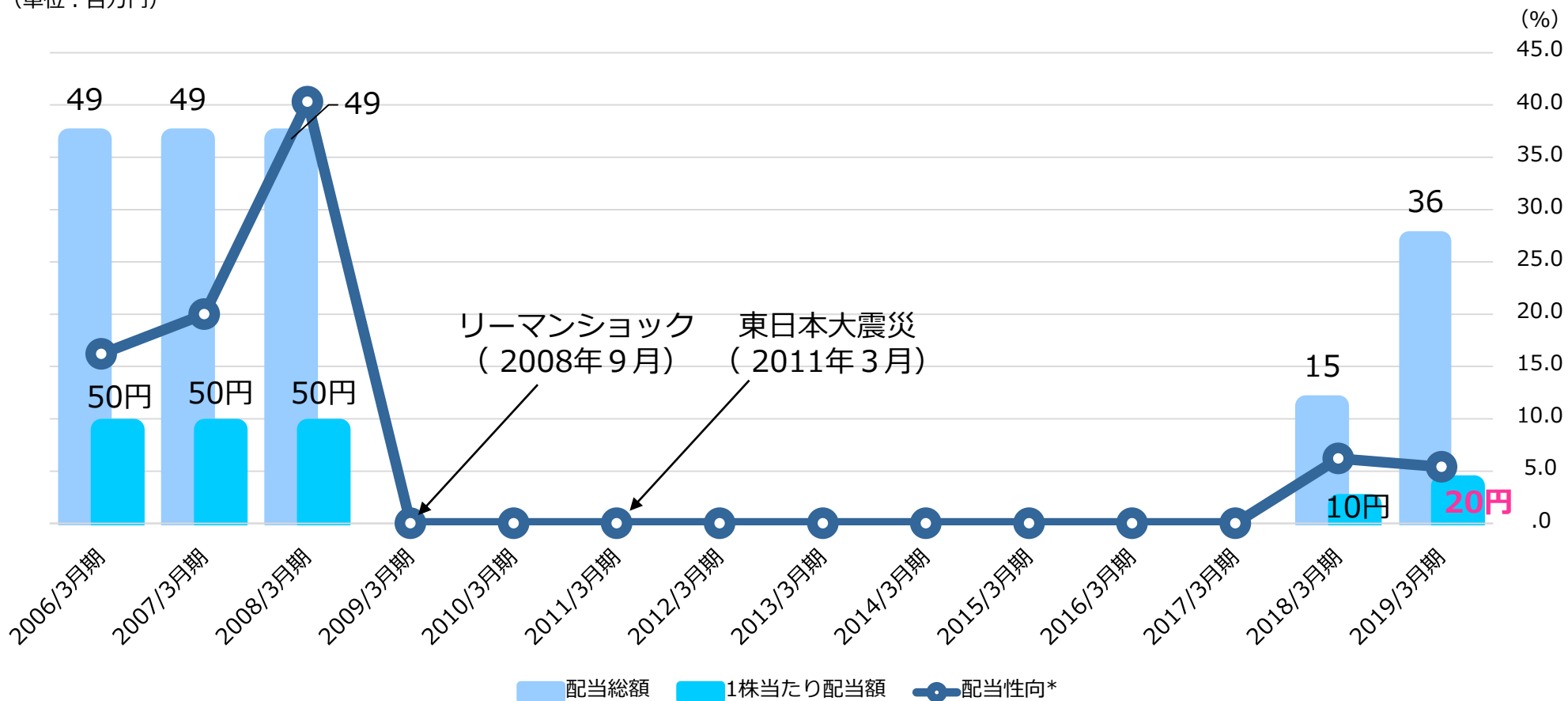
基 本 方 針

当社は、将来に向けた事業展開のため財務体質と経営基盤の強化を図り株主資本の充実に努めるとともに、収益動向などを総合的に勘案し業績に相応した配当を実施し、また、財務状況や株式市場などを勘案しながら適宜自己株買いを実施していく方針であります。

配 当

2019年3月期の配当につきましては、今後の業績・事業展開等を勘案し、**1株当たり20円**の配当を実施いたしました。

(単位：百万円)



* 配当性向 = 配当金総額 ÷ 当期純利益

* 1株当たり年間配当金は株式併合後換算により記載

(単位：円)

株価推移



* 終値ベース

* 2015年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

◆連結経営指標

(単位：百万円)

		2016/ 3 月期	2017/ 3 月期	2018/ 3 月期	2019/ 3 月期
P/L	売上高	4,910	4,975	5,293	5,690
	営業利益	262	293	312	422
	経常利益	184	207	259	352
	当期純利益	139	265	246	569
B/S	現預金	1,783	1,947	1,988	2,524
	資産計	6,132	6,314	6,697	7,372
	負債計	4,882	4,789	4,946	4,997
	純資産計	1,249	1,524	1,750	2,375
自己資本比率		20.3%	24.1%	26.0%	32.2%
簡 易 CF	営業活動によるCF	316	400	331	566
	投資活動によるCF	△ 46	△ 34	△ 169	154
	フリーCF	270	366	162	731
	財務活動によるCF	332	△ 176	△ 135	△ 123

当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

◆その他指標

	2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期
自己株式取得額	—	27百万円	—	—
配当金総額	—	—	15百万円	36百万円
総還元性向	—	10.3%	6.2%	5.4%
時価総額	11億43百万円	13億29百万円	17億16百万円	27億42百万円
連結PER（株価収益率）	5.2倍	4.9倍	6.8倍	4.0倍
連結PBR（株価純資産倍率）	0.9倍	0.8倍	1.0倍	1.1倍
連結ROE（自己資本利益率）	13.3%	19.2%	15.1%	27.7%

ご清聴ありがとうございました。

**本件に関するお問合せは、
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

また、本資料の内容、テキスト、画像等の無断転載・転用はお断りさせていただきます。

